

2025年3月16日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第67巻第51号(通算3433号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

小さくされている人を
大切に^{たいせつ}する^{きょうかい}教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

丈夫な人に医者はいらないが、具合の悪い人には必要なのだ。実に、私が来たのは、「正統派の人」
を招くためではなく、「道をふみはずした者」を招くためである。(マルコによる福音書2:17)

レント (受難節) 第2主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

前奏 (黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 詩編 130編 3-4a節

賛美歌 21-305番 「イエスの担った十字架は」(1,2節) (©JASRAC)

消灯の詞

賛美歌 21-298番 「ああ主は誰がため」(©讚美歌編集委員会)

聖書 マタイによる福音書 12章 22-37節

お祈り

賛美歌 21-528番 「あなたの道を」(©著作権消滅)

メッセージ 「実によって木を知る」 牛田 匡 牧師

賛美歌 21-514番 「美しい天と地の造り主」(©著作権消滅)

主の祈り 21-62番 「天にいます わたしたちの父」(©讚美歌改訂委員会)

献げ物 (*)

派遣 21-91番 「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福 牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物 (献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

招きの詞 詩編 130 編 3-4a節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

3 主よ、あなたが過あやまちに目を留めるなら

わが主よ、誰が耐えられましょう。

4a しかし、赦ゆるしはあなたのもとにあります。

消灯の詞 (参照：マタイによる福音書 26 章 47-56 節)

弟子の一人のユダが、イエス様を裏切ったことを思いながら、このろうそくを消します。

聖書 マタイによる福音書 12 章 22-37節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

22 その時、悪霊あくれいに取りつかれて目が見えず口の利けない人が、連れられて来て、イエスが癒やされると、ものが言え、目が見えるようになった。23 群衆は皆驚いて、「まさか、この人がダビデの子ではあるまいか」と言った。24 しかし、ファリサイ派の人々はこれを聞き、「悪霊の頭かしら ベルゼブルの力によらなければ、この者は悪霊を追い出せはしない」と言った。25 イエスは彼らの思いを知って言われた。「どんな国でも内輪で争えば荒れ果て、どんな町でも家でも、内輪で争えば立ち行かない。26 サタンがサタンを追い出せば、それは内輪もめだ。それでは、どうしてその国は立ち行けよう。27 私がベルゼブルの力で悪霊を追い出しているのであれば、あなたがたの仲間は何の力で追い出すのか。だから、彼ら自身があなたがたを裁く者となる。28 しかし、私が神の霊で悪霊を追い出しているのなら、神の国はあなたがたのところに来たのだ。29 また、まず強い人を縛り上げなければ、どうして家に入って家財道具を奪い取ることができるだろうか。まず縛ってから、その家を略奪するものだ。30 私と共にいない者は私に反対する者であり、私と共に集めない者は散らす者である。31 だから、言うておく。人が犯す罪ぼうとくや冒瀆は、どんなものでも赦される。しかし、霊に対する冒瀆は赦されない。32 また、人の子に言い逆らう者は赦される。しかし、聖霊に言い逆らう者は、この世でも来るべき世でも赦されることはない。」 (脚注 a: 直訳「子ら」)

33 「木が良ければその実も良いとし、木が悪ければその実も悪いとしなさい。木の良し悪しはその実によって分かる。34b 毒蛇どくじゃの子らよ、あなたがたは悪い人であるのに、どうして良いことが言えようか。およそ心から溢あふれることを、口は語るのである。35 善い人は良い倉から良い物を取り出し、悪い人は悪い倉から悪い物を取り出す。36 言うておくが、人は自分の話したつまらない言葉についてもすべて、裁きの日には責任を問われる。37 あなたは、自分の言葉によって義とされ、また、自分の言葉によって罪ある者とされる。」 (脚注 b: クサリヘビ)

《先週のメッセージより》2025年3月9日 受難節第1主日礼拝

「つきまとう悪魔」より

水谷憲牧師

聖書 マタイによる福音書 4章 1-11節

イエスが40日の断食を終えて空腹を覚えられた時、悪魔がすかさず、親切そうに言う。「お疲れさん。お腹すいたろう。とりあえず、そのへんの石をパンに変えて、空腹を満たしなさいよ」。今も昔も子育てや教育の現場にある様々な体罰の問題。子が自分の思う通りにならないと殴ったり、「死ね」「やめてしまえ」と罵ったりする。なぜ？言葉で諭したり励ましたりするより楽なのだ。一時的にでも、石がパンになるからだ。子どもたちは傷つけられたくなくて、しぶしぶ、必死に従うのだ。しかしそんな私たちと違いイエスは「人は神の口から出る一つ一つの言葉で生きる」と、悪魔の提案を却下する。

次に、悪魔はイエスを神殿の屋根の端に立たせる。「このへんで無理な努力は止めたらどうだ。失敗したって、神はあなたを支えて下さるよきっと」。そんなことは分かっている。私たちが、自分の志を完結できず失敗したとしても、神様はきっと許し、助けてくださる。だからこそ、それを確認するかのようになんかを誓ってはあきらめたりする不誠実を、私たちは恐れ、避けないといけないのではないか。

さらに悪魔は、高い山から全ての国々とその繁栄振りを見せ、「ひれ伏して私を拝むなら、これを全て与えよう」とイエスに言う。イエスはそれも退けるが、実はすごく悩んだのではないか。高い山から世界の景色を見た時、彼はその繁栄を謳歌する幸せな人々と共に、その足元でうずくまり這いつくばる、不幸な人々のことも見えてしまったかもしれない。悪魔に頭を下げてでも世界を手に入れ、その人たちを何とかしたいと思ってしまったかもしれない。確かにその方がきっと、自分の理想の実現に近い。しかし自分に嘘をつき言い訳をして悪魔に魂を売り理想に近づくより、手間がかかって歩みは遅くとも、結果がなかなか出ずとも、自分や隣人たちの気持ちを大事にしていく方が、生きていってずっと気持ちいいのではないか。いくら自分の思い描くものがすぐ目の前にあったとしても、安易な誘惑に妥協することには、本当に気をつけたいことを思う。

最終的に悪魔は一旦離れたが、悪魔はいついかなる時にも、私たちに仲間になろう、自分に頭を下げさせよう、自分たちの支配下に置こうとつきまとってくる。キリストのように強くない、「楽」に流されやすい私たちは、レントに限らず、誘惑する者が現れる度に「退け、サタン」と祈っていきたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



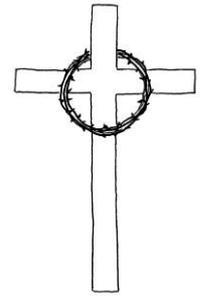
YouTube



◎ 先週の報告 2025年 3月9日 受難節第1主日礼拝

礼拝出席 大人4名 子ども2名

献金 大人4,000円 子ども1,500円 中継視聴者数15回 感謝
久しぶりに さんと さんが、礼拝に来られました。



◎ 次週 2025年 3月23日 (日) 受難節 (レント) 第3主日礼拝

招きの詞 詩編 86編 5-6節

聖書 マタイによる福音書 16章 13-28節

メッセージ 「神の力は底辺から」 牛田匡牧師

賛美歌 305番 198番 (ともに©JASRAC)、296番 (©P.D.)、314番 (©讃美歌委)

今年のレント (受難節・四旬節) は、3月5日 (水) から4月19日 (土) です。

レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかについて考える時です。

◎ お知らせ

- ・本日の礼拝後に、釜ヶ崎のための「おにぎり作り」を致します。皆でおにぎりを作って、釜ヶ崎・いこい食堂にお届けして、お配りいたします。どなたでもご参加ください。またこの活動のための献品や献金も歓迎いたします。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ (全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・「EXPO2025 大阪・関西万博」の開幕が、いよいよ来月に迫って来ました。50年前の1970年万博は、日本のキリスト教会に強烈な問いを投げかけました。キリスト者が社会に関わるとはどういうことなのか。異なる立場が生じ、各々が信仰の問題として向き合いました。3月30日と5月11日の2回にわたり、大阪教区社会委員会主催の「連続講演会」が、東梅田教会にて開催されます。講師は、70年万博における「キリスト教館」を巡る議論について歴史的に研究されて来られた増田齋さん (明治学院大学キリスト教研究所協力研究員) です。50年前の万博と重ねつつ、今、私たちの立ち位置を見つめ直す学びの時としていきましょう。

◎ 公告

- ・次週3月23日 (日) 礼拝後に、臨時教会総会を教会堂にて開催します。議案は「担任教師辞任に関する件」です。教会員の方は出席、もしくは「議決権行使書」の提出をご予定ください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
3/23	牛田匡牧師	臨時教会総会
3/30	水谷憲牧師	誕生者祝福式
4/6	牛田匡牧師	ユークリスト・教会を考える会
4/13	牛田匡牧師	おにぎり支援

大阪教区社会委員会 連続講演会

70年万博の全容

第1回 なぜキリスト教界は

万博に**参加**したのか

3/30(日)

15:00~17:00

5/11(日)
15:00~17:00

第2回 なぜキリスト教界は

万博に**反対**したのか

講師：増田 齋さん

国際日本文化研究センター博士研究員・明治学院大学キリスト教研究所協力研究員

主な著作「1970年キリスト教界における戦後主体性論争——大阪万博キリスト教館と万博反対運動」(佐野真由子編著「万博学——万国博覧会という、世界を把握する方法」思文閣出版、2020年)

会場：東梅田教会

間もなく大阪・関西万博2025が開かれようとしています。70年万博は、日本のキリスト教界に強烈な問いを投げかけました。キリスト者が社会と関わるとはどういうことなのか…。異なる立場が生じ、各々が信仰の問題として向き合いました。あの時代、キリスト教界ではどのような事が起こっていたのか。

今回、キリスト教館を巡る議論について歴史的に研究されてこられた増田齋さんをお招きし連続講演会を行います。50年前の万博と重ねつつ、今、私たちの立ち位置を見つめ直す、学びの時にしていきましょう。

主催 大阪教区社会委員会

問い合わせ：uccj.osaka.shakai@gmail.com